

市民が主人公の市政実現へ 今年も全力でがんばります

日本共産党野洲市議会議員団



琵琶湖岸から比良山系を望む

二〇一〇年を市民の暮らしを守る新しい年に

12月議会
市議団報告

集中改革プラン 施設廃止と負担強化決める

分庁舎を始め公民館、図書館分室など一連の公共施設廃止。70歳以上・障害者の循環バス利用料の有料化、敬老祝金条例廃止など市民負担強化の議案が提案されました。これらの議案は共産党市議団以外の会派の賛成で決まりました。



事業	現行	改正
小中学校修学旅行補助	小学校 1,000円	廃止 廃止(低所得者対策あり)
	中学校 4,000円	
敬老祝い金	88歳 10,000円	5,000円
	100歳 100,000円	30,000円
骨粗しょう症健診	無料	100～150円
生活習慣病予防健診	1,500円	2,500円
胃がん検診	900円	1,000円
子宮がん検診	集団検診 600円	1,800円
	医療機関 1,700円	1,800円
乳がん検診	50歳以上(集団検診) 1,000円	1,600円
	50歳以上(医療機関) 1,400円	1,600円
	40歳以上(医療検診) 1,800円	2,400円
成人歯科検診	600円	1,000円
高齢者インフルエンザ	65歳以上 1,000円	1,300円
学童保育所保育料	通年利用者 月9,000円	10,000円
	季節利用者 年24,000円	40,000円
放課後子ども教室	通年利用者 無料	月5,000円
	季節利用者 無料	年20,000円
循環バス	70歳以上・障害者 無料	70歳以上100円・障害者50円
元気カード	体育館・温水プールなど 無料	100～300円

今議会では条例改正された以外に来年度から値上げ予定の事業も掲載しています

常設型の「住民投票条例」を制定

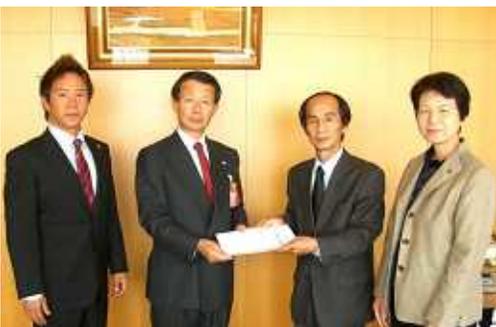
まちづくり基本条例に基づく、「住民投票条例」が制定されました。条例は「常設型」で、これにより請求要件を満たせば無条件実施されます。滋賀県内では2例目で市民の市政参加を広げるうえで画期的なものです。

共産党市議団は、「市民の投票請求」について条例案の「4分の1」を「5分の1」にすることや「投票対象の制限」につながる条項などの修正案を提案しました。修正案は他会派の反対で否決されましたが、市民本位の市政・市民参加の市政実現へ引き続きがんばります。

共産党市議団
切実な願い実現へ

市長に「2010年度予算要望書」を提出

共産党市議団は11月21日、山仲市長に対して、「野洲市予算編成についての要望書」を提出しました。



暮らしが一層大変な時です。共産党市議団はこの間、市民のみなさんから寄せられた切実な願いの実現へ11月21日、山仲市長に「来年度予算に反映するよう」にと要望書を提出しました。

要望書を提出する市議団(11月26日)



安心・安全のまちづくりへ
歩道や信号機設置を要望

滋賀県に要望する市議団
(12月24日=県庁にて)



信号機が設置される右岸線のイオン横交差点

野洲川大橋西詰交差点への信号機設置、県道高木・篠原間の歩道整備など求めました。回答では野洲川右岸線のイオン横の交差点に信号機の設置を行うことを明らかにしました。

市議団ホームページをご覧ください
<http://www.yasusigi.net/>

